

リニアまちづくりについて ～橋本駅周辺まちづくり、関東車両基地の設置～

令和6年12月20日
リニアまちづくり推進本部会議
兼 幹事会議

1 広域交流拠点の整備について

これまでの橋本駅周辺まちづくりの経過

H25 橋本駅南口へのリニア駅設置発表

H26 広域交流拠点都市推進戦略・広域交流拠点基本計画策定

橋本駅周辺地区「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」

H28 広域交流拠点整備計画策定

R5. 3 土地区画整理事業・街路事業の都市計画決定

R5. 11 相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン策定

コンセプト「一歩先の未来を叶えるまち橋本」

リニア駅の設置を見据えたまちづくり

2 橋本駅周辺の現況



- ・橋本駅は、JR横浜線・相模線、京王相模原線の3線を合わせ一日あたりの乗降客数が20万人を超えるターミナル駅
- ・北口再開発などにより、商業施設や行政機能が集積する、市の中心市街地の一つに発展
- ・一方で、駅の南口においては、県立高校が立地し、低層な住宅が広がる等、合理的な土地利用に課題
- ・リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)設置に伴い、県立高校が平成31年4月に移転し、駅前に広大な空地が存在している状況

2 橋本駅周辺の現況

- さがみロボット産業特区※
- 多摩イノベーション交流ゾーン

※ さがみロボット産業特区
相模原市、平塚市、藤沢市、
茅ヶ崎市、厚木市、大和市、
伊勢原市、海老名市、座間市、
綾瀬市、寒川町、愛川町



2 橋本駅周辺の現況

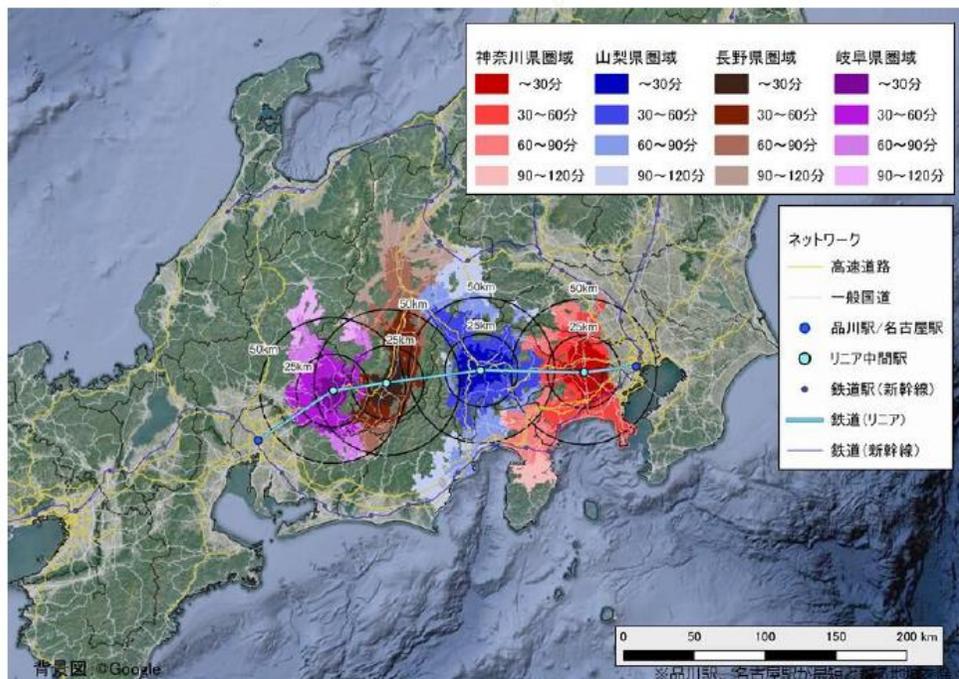


図 中間駅からの所要時間（圏域）

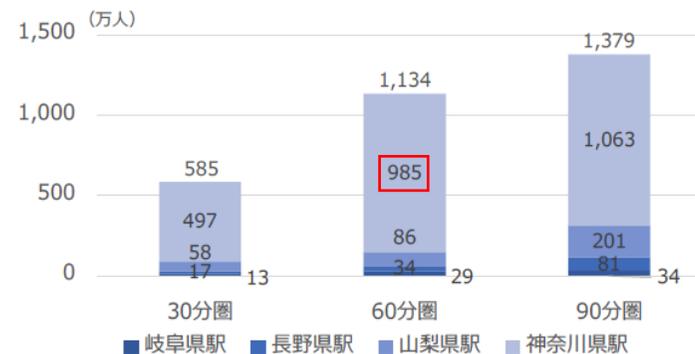


図 中間駅の時間圏域別の人口

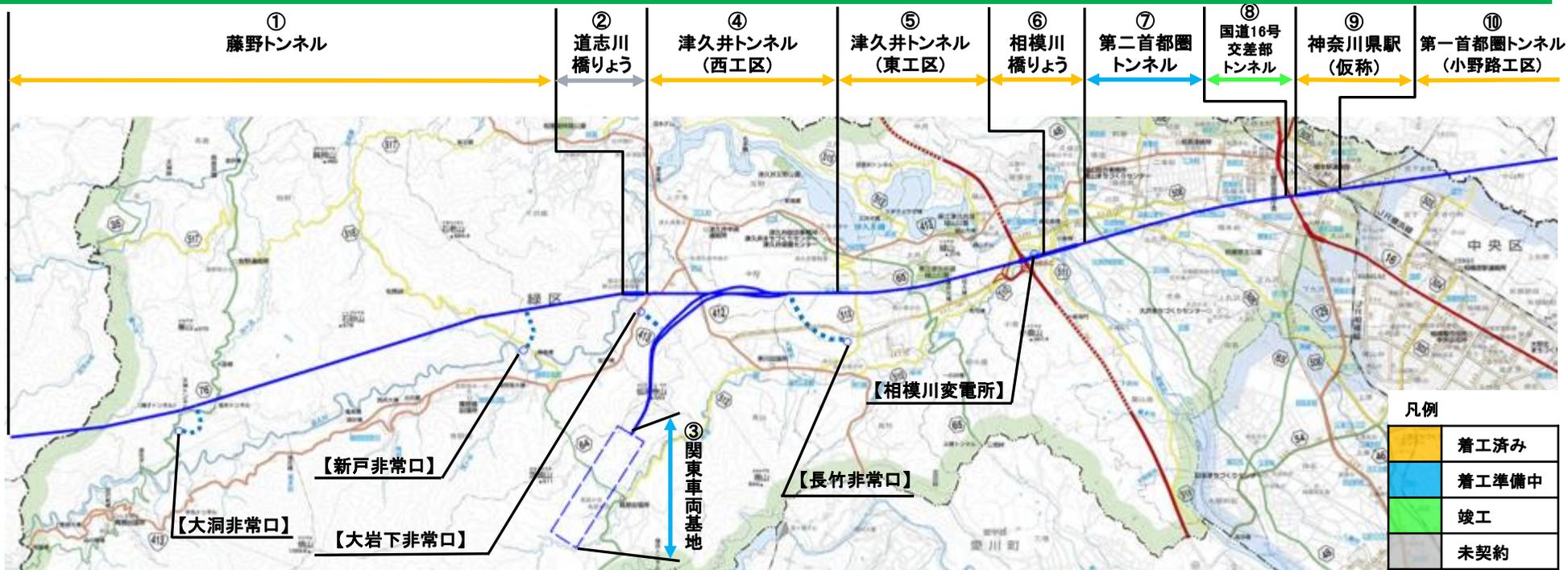
※中間駅までの所要時間は、品川駅、名古屋駅からの所要時間が最短となる圏域を除いている。

※『リニア中央新幹線中間駅を核とする
「新たな広域中核地方圏」の形成(R5.7)』より抜粋

現況道路ネットワークによる中間駅を中心とする圏域の合計

神奈川県駅(仮称)は60分圏域で人口約985万人の都市群が形成される可能性

3 市内におけるリニア中央新幹線の整備進捗状況



名称	① 藤野トンネル	② 道志川橋りょう	③ 関東車両基地	④ 津久井トンネル(西工区)	⑤ 津久井トンネル(東工区)	⑥ 相模川橋りょう	⑦ 第二首都圏トンネル	⑧ 国道16号交差点トンネル	⑨ 神奈川県駅(仮称)	⑩ 第一首都圏トンネル(小野路工区)
状況	着工済 (大洞非常口) 【R2.1説明会】	未契約	着工準備中 【R6.11説明会】	着工済 (長竹非常口) 【H31.2説明会】	着工済 【R3.6説明会】	着工済 (相模川東岸) 【R4.6説明会】 (相模川西岸) 【R5.5説明会】	掘削開始に向けた準備作業中 (シールド機組立) 【R5.5説明会】	竣工	着工済 【R1.10説明会】	着工済 【R2.12説明会】
工期	R1.10.16 ~ R8.3.31	—	R5.9.14 ~ R9.9.17	H30.10.18 ~ R8.6.30	R2.6.26 ~ R8.3.31	R3.6.1 ~ R9.3.19	R3.3.9 ~ R8.9.30	H30.7.31 ~ R3.11.30	R1.6.26 ~ R9.3.31	H31.4.24 ~ R8.3.16
施工者	戸田建設JV	—	清水建設	竹中土木JV	(株)フジタ	銭高組JV	奥村組JV	(株)奥村組	奥村組JV	安藤・間JV
備考	(新戸非常口) 【R3.10説明会】 着工準備中	—		(大岩下非常口) 【R4.6説明会】 ヤード整備着工	変電所の造成工事を含む	榎川橋りょう他は未契約				市内を含む区間は未着手

3 市内におけるリニア中央新幹線の整備進捗状況

関東車両基地 完成イメージ

【名古屋開業時】



3 市内におけるリニア中央新幹線の整備進捗状況

神奈川県駅(仮称)の状況

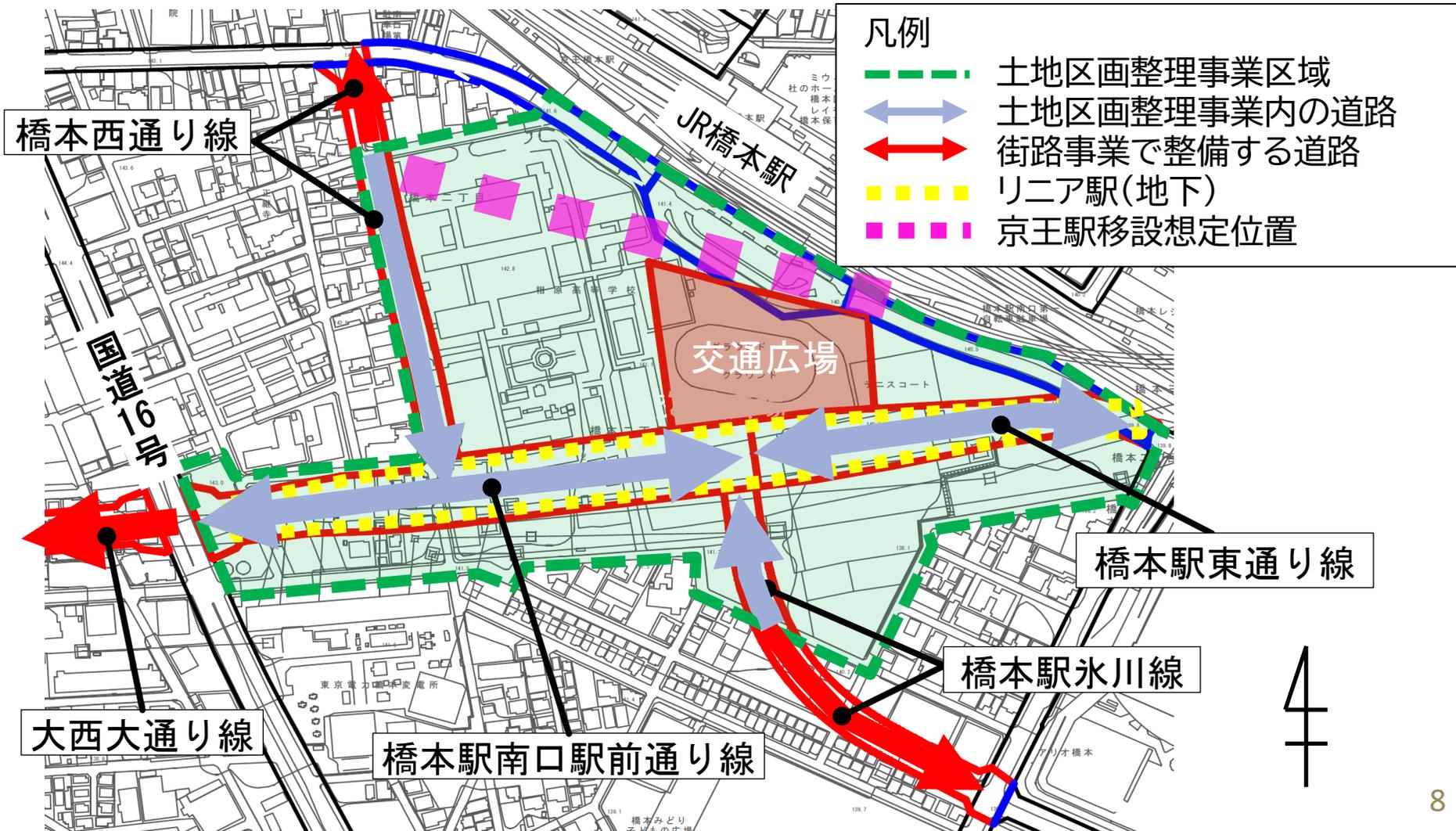


4 橋本駅周辺整備 概要 (橋本駅周辺の今後の展望)

事業手法について

高校跡地とリニア事業地については「**土地区画整理事業**」

その他は「**街路事業**」で実施



4 橋本駅周辺整備 概要

【3・3・8号大西大通り線】

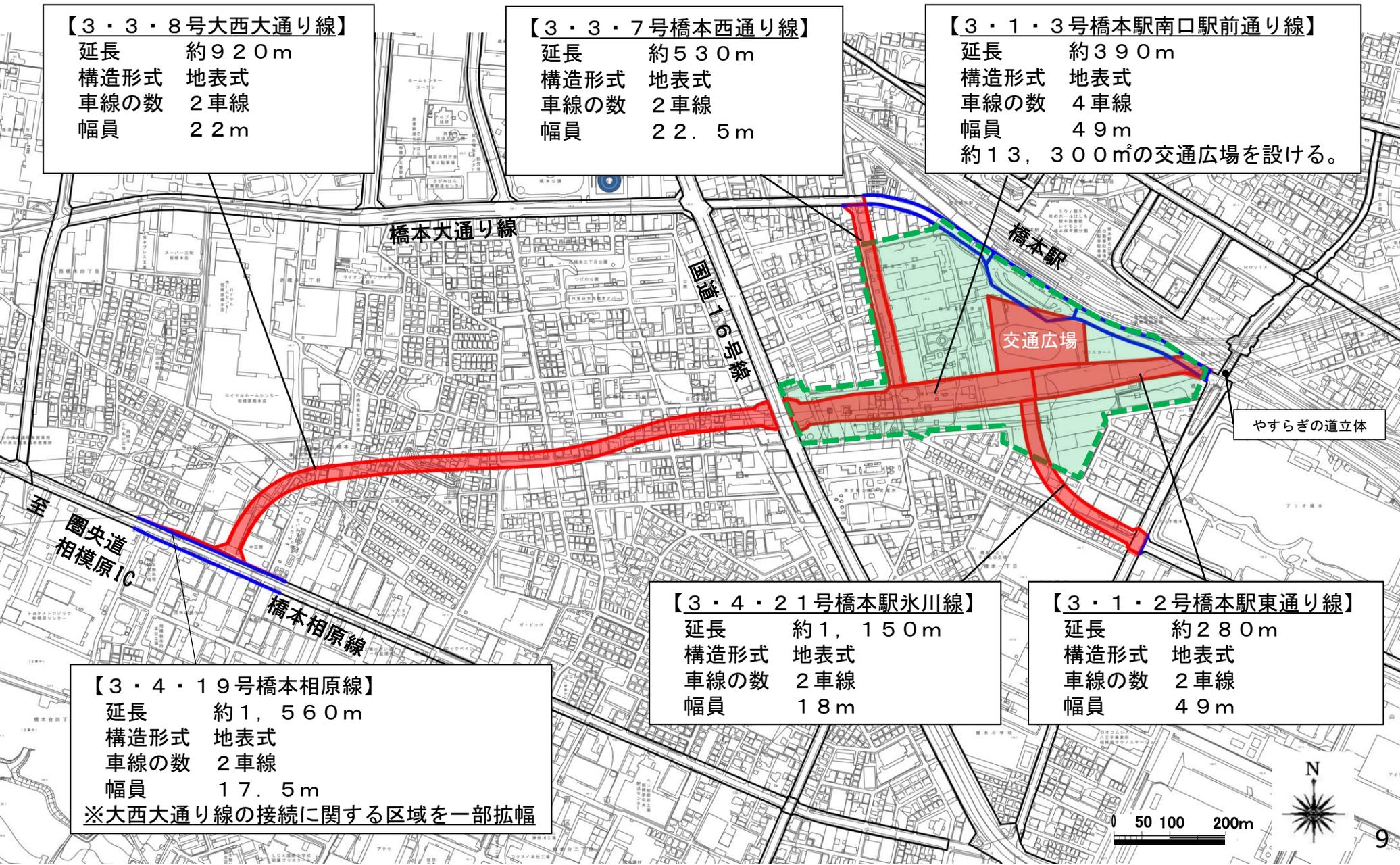
延長 約920m
 構造形式 地表式
 車線の数 2車線
 幅員 22m

【3・3・7号橋本西通り線】

延長 約530m
 構造形式 地表式
 車線の数 2車線
 幅員 22.5m

【3・1・3号橋本駅南口駅前通り線】

延長 約390m
 構造形式 地表式
 車線の数 4車線
 幅員 49m
 約13,300㎡の交通広場を設ける。



【3・4・21号橋本駅氷川線】

延長 約1,150m
 構造形式 地表式
 車線の数 2車線
 幅員 18m

【3・1・2号橋本駅東通り線】

延長 約280m
 構造形式 地表式
 車線の数 2車線
 幅員 49m

【3・4・19号橋本相原線】

延長 約1,560m
 構造形式 地表式
 車線の数 2車線
 幅員 17.5m

※大西大通り線の接続に関する区域を一部拡幅

4 橋本駅周辺整備 概要



コンセプト

リニアでつながる
一歩先の未来を叶えるまち橋本

市民・企業・関係団体・行政などと共有し、
多様な主体との連携・協働による
持続的に発展するまちづくりに取り組むことを目的に、

「相模原市リニア駅周辺 まちづくりガイドライン」

を策定しました。



4 橋本駅周辺整備 概要

「相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン」において6つのまちづくり誘導方針を策定

土地利用

広域から人々をあつめ、新たな価値を創造する



方針1 特色ある都市機能を誘導する

方針2 先端技術の拠点を形成する

方針3 新たな価値を創造し、まちの発展を促進する

景観

まちの玄関口にふさわしい景観を形成する



方針1 賑わいあふれるまちなみを形成する

方針2 やすらぎを感じるまちなみを形成する

方針3 まちなみと調和したデザインに配慮する

交通・ネットワーク

誰もがアクセスしやすいまちをつくる



方針1 交通結節機能を強化する

方針2 3つの鉄道駅、交通広場と南北のまちをつなぐ

方針3 駐車場の適正配置と効率的な運用を誘導する

環境

環境にやさしいまちづくりを推進する



方針1 脱炭素化を推進する

方針2 循環型社会の実現を推進する

公共空間

賑わいが広がる、開かれたパブリックスペースをつくる



方針1 安全安心で快適な歩行者空間を確保する

方針2 駅とまちをつなぐ一体的な空間を形成する

方針3 周辺市街地と安全安心に接続する

防災

災害に強いまちづくりを推進する



方針1 災害時における地域の経済性を確保する

方針2 駅とまちが連携した防災対策を推進する

4 橋本駅周辺整備 概要

1 駅まち一体牽引ゾーン

- 駅と街区が融合した「駅まち一体のまちづくり」を牽引するゾーン
- 駅を起点とした利便性の向上と、駅とまちの一体感を醸成し、まち全体へ賑わいを広げる。

2 広域交流ゾーン

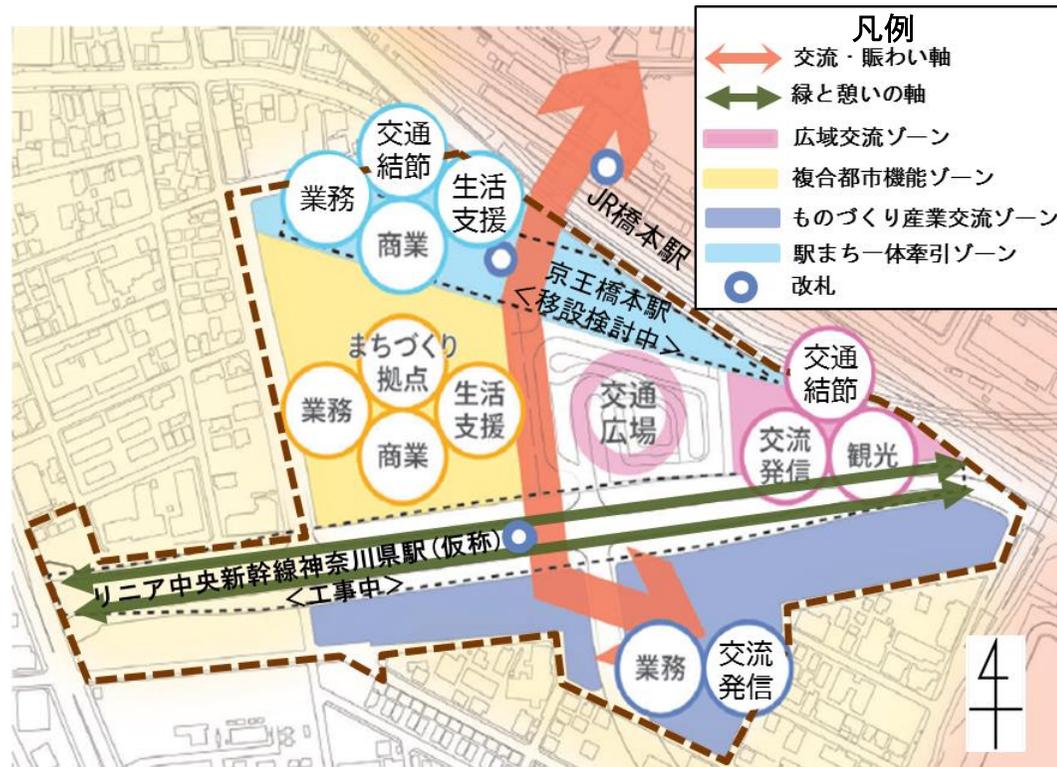
- 観光、物産、産業等に関する交流や情報発信の拠点となるゾーン
- 交通広場と連携した交通結節機能等の導入を図るとともに、まちの発展に合わせた様々なトライアルを実践

3 複合都市機能ゾーン

- 働きやすさ、住みやすさ、過ごしやすさを兼ね備えた、誰もが心地よく過ごせるゾーン
- 子どもから高齢者まで様々な世代の活動を支える複合的な都市機能を導入

4 ものづくり産業交流ゾーン

- 産業集積を牽引するゾーン
- 研究、インキュベーション、交流等の機能導入を図り、広域から人材が集まる拠点として、産業発展、技術創造を牽引



※リニア駅周辺まちづくりガイドラインから引用

※写真は他都市の事例

業務機能

オフィスやインキュベーション施設を誘導し、産業・研究開発拠点とも連携する、圏域の業務拠点を形成します。

渋谷キューズ（インキュベーション施設）



商業機能

交流・賑わい軸と一体感のある商業機能を誘導し、橋本に住む人・働く人のくらしを支えます。

二子玉川ライズ（商業施設）



交流・発信機能

産学官金連携や、高度人材の交流・連携、新たな産業の育成の場を誘導し、先端技術を牽引します。

ナレッジキャピタル The Lab（先端技術に触れられる交流施設）



生活支援・まちづくり拠点機能

生活・福祉サービスや、まちづくり活動の拠点を誘導し、橋本に住む人・訪れる人のくらしを支えます。

柏の葉アーバンデザインセンター（まちづくり拠点）



観光機能

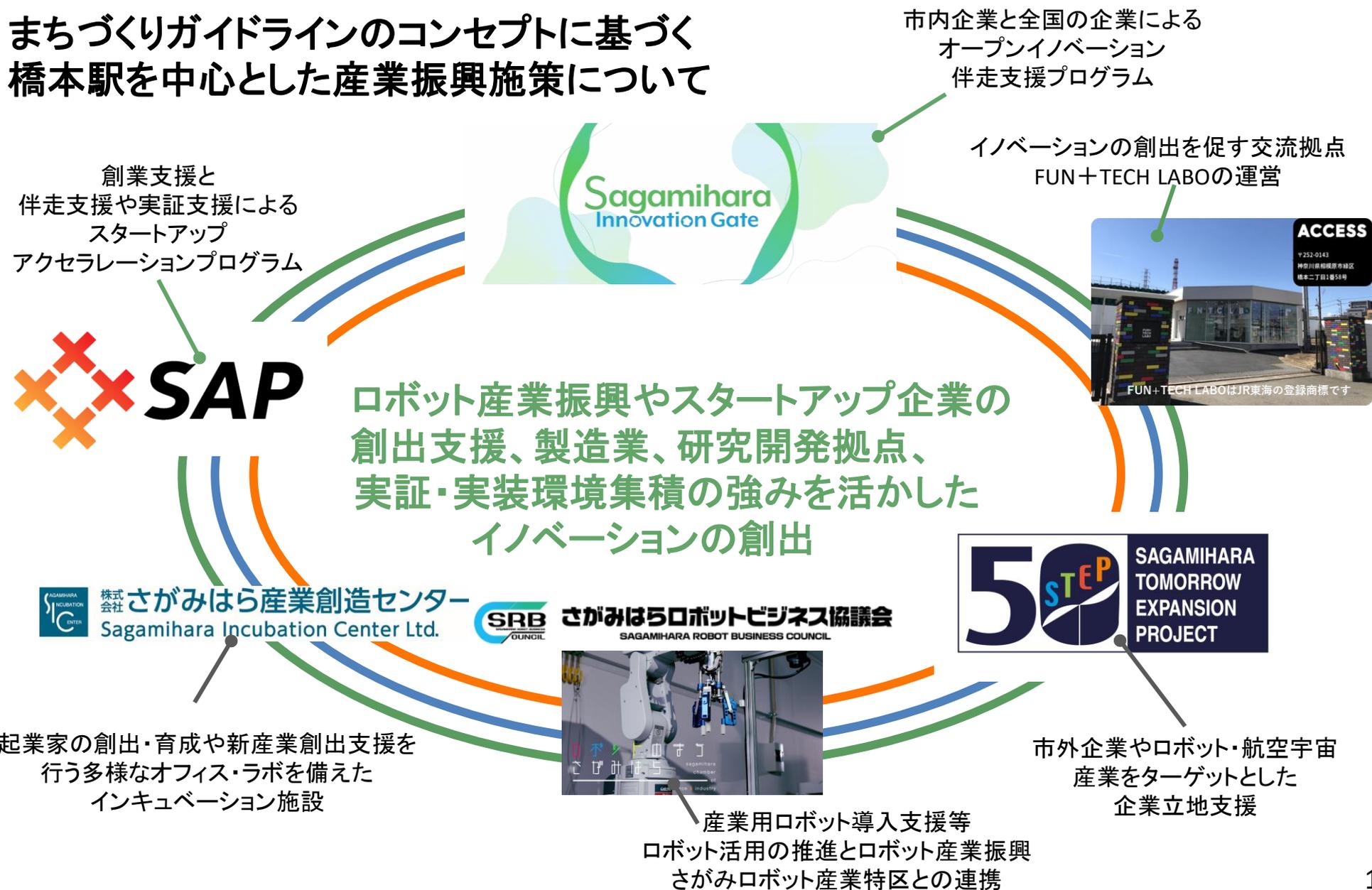
観光、物産に関する交流や情報発信の拠点を誘導し、圏域全体の魅力を発信します。

新宿観光案内所



4 橋本駅周辺整備 概要

まちづくりガイドラインのコンセプトに基づく 橋本駅を中心とした産業振興施策について



4 橋本駅周辺整備 概要

イノベーション創出促進拠点「FUN+TECH LABO(ファンタステックラボ)」 (R6.3.25開設)

- ・相模原市とJR東海の連携の下、企業・起業家・学生・研究機関等、市内外の様々な主体の交流を促し、イノベーション(技術革新や新たな価値)を創出する拠点としてJR東海が設置
- ・市は、当施設を活用した「イノベーション創出促進拠点運営事業」を委託
(拠点で展開する主な事業)

AI・IoT、素材、航空宇宙等先進的な技術領域に属する様々な技術・研究シーズを保有する企業やスタートアップ企業、学術研究機関等を拠点施設へ誘致

様々なプレイヤーの参加を想定したセミナー・イベントを実施。[スタートアップ企業等様々な企業による事業プレゼン・ピッチ](#)、ビジネスや起業に関するセミナー・イベントの実施に加え、市民参加型のイベントも予定

[ビジネスマッチングや共同事業・研究等オープンイノベーションの推進、実証事業の推進、新技術の社会実装の推進等を目的としたコンソーシアムの構築](#)を目指す。

[相模原アクセラレーションプログラムやオープンイノベーションプログラム採択者の事業推進](#)に関する相談や、事業拡大、新事業創出、研究開発等の推進に必要な人材とのビジネスマッチング機会を創出



交流スペースや個別企業が入居するオフィスを備え、利用者間の交流活性化を推進

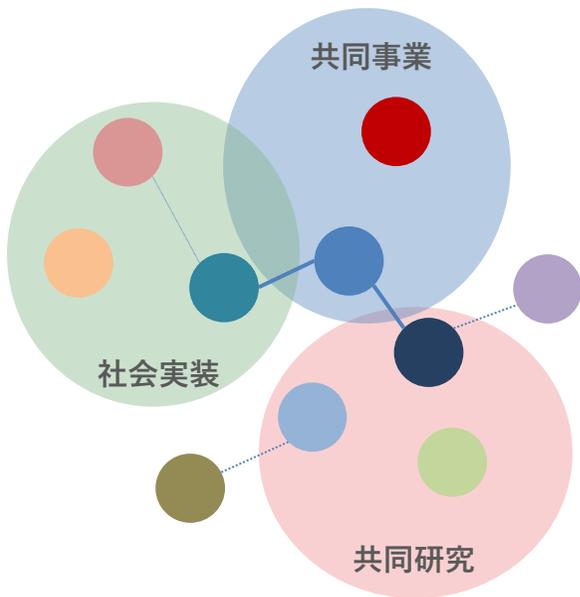


4 橋本駅周辺整備 概要

相模原市が目指すイノベーション創出・企業立地に向けた展望

短期(環境形成)

- ✓ 様々なプレイヤーによる領域横断的な交流創出、結合の促進と新事業創出を促す共創環境の形成
- ✓ 新たな技術の実証や実装に向けた研究・開発促進



中期(広域波及)

- ✓ ロボットや航空宇宙をはじめとした継続的なイノベーションの創発
- ✓ イノベーション創発地域としての認知向上と広域連携



長期(基盤確立)

- ✓ ロボットや航空宇宙をはじめとしたイノベーション創発地域、価値創出基盤の確立と橋本駅周辺や市内への企業進出・立地の増加



4 橋本駅周辺整備 概要

○今後の進め方

- ・「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」の実現に向け、市民・企業・関係団体・行政などが「まちの将来像」や「まちの誘導方針」を共有し、共同することを基本とする。
- ・まちづくりの推進に当たっては、民間投資を呼び込むため、まちの将来像の周知に努めるとともに、都市基盤の整備時期、集積すべき機能、民間事業者による施設整備への支援措置等の具体化を図り、民間開発の円滑な誘導を図る。

